

社会福祉学部 ディプロマ・ポリシー

■ 社会福祉学部

1. 社会福祉分野や関連する行政部門はもとより、社会的に活動する諸組織において、さまざまな福祉的支援ならびに心理的支援を展開するために必要な専門的知識を有している。
2. 福祉的支援ならびに心理的支援に求められる基本的な姿勢、そのために求められる深い人間理解と、それに裏づけられた対人能力を身につけている。
3. 現代社会において複雑化・多様化している人々のニーズを把握・分析し、その充足に必要な対人的関与や社会環境を構想・実行していくための総合力を身につけている。

■ 社会福祉学科

本学科では、規定の期間以上在学して所定の課程を修め、以下に示す資質・能力を備えた者に、学位〔(学士：社会福祉学)〕を授与する。

(1) 知識

- DP1. 社会福祉学の専門的知識に加え、複雑化・複合化・多様化する個人や家族の生活課題と社会構造を多角的に理解するための、人文科学・社会科学に関する幅広い知識と教養を身につけている。(人文科学・社会科学の基本的知識)
- DP2. 多様な生活問題や地域課題およびグローバルな諸課題とその背景・要因について、社会福祉学の知見を用いて的確に把握・分析するための専門的知識を身につけている。(社会福祉学の専門的知識)

(2) 技能

- DP3. 社会生活上の困難に直面する人々に対して、共感をもってその相談に応じるとともに、多様な専門職および組織・機関や地域住民等の関係者と連携・協働できる。(コミュニケーション力)
- DP4. 多職種・多機関・地域住民等との連携・協働によって、個人の生活課題および地域の課題解決に向けた分析・計画立案・提案を行うことができる。(分析力／企画・デザイン力)

（３）価値・態度

DP5. 個人の尊厳や基本的人権及び多様性を尊重し、共生社会の実現に向けて地域や社会におけるさまざまな人々と関わる姿勢を身につけている。（人権の尊重／共感的姿勢）

DP6. 自己の専門性を高め続けるために主体的に学び続ける姿勢を備え、生涯にわたって成長し続けるための意欲と方法を身につけている。（自己研鑽力）

（４）総合的な実践

DP7. 社会福祉・行政・教育・産業界といった多様なフィールドにおいて、人々が持つ多様かつ個別化されたニーズを充足するために、（１）～（３）に基づき個人のみならず関係する組織、地域、法制度、社会構造なども視野に入れ支援や行動ができる実践力を身につけている。（実践力）

■ 心理学科

心理学科は、心理学の幅広い領域を横断する知識を有し、専門知と実践知の双方向的な探究を通じて、心に関する科学的探究能力と、豊かな人間性に裏打ちされた社会的課題の解決能力の双方を併せ持つ人材を育成する。この教育を通じて、規定の期間以上在学して所定の課程を修め、以下に示す知識、能力、態度の獲得目標を達成した者に、学位〔学士（心理学）〕を授与する。

（１）知識・理解

DP1. 心理学および隣接諸科学の理論や概念について幅広い知識を有し、個人の心理過程や対人関係、社会的相互作用のありかたを理解している。（心理学の専門的知識）

DP2. 心理学研究の方法論およびデータ分析手法に関する基礎的知識を修得し、多様な方法による心理学的測定や心理的アセスメントの意義と役割を理解している。（方法論的専門知識）

（２）思考力・判断力・表現力

DP3. 心理学の専門知識と研究方法を駆使して妥当な目的を設定し、倫理指針に沿った研究を計画・実行できる。人間や社会に関わる課題をデータに基づいた批判的・実証的な思考によって分析し、解決策を提案することができる。（実証的課題解決力）

DP4. 心理学の基本的な知識をもとに、精神的健康に関わる問題を適切に捉え、初歩的な解決の方向性を示すことができる。(心理的支援の基礎力)

DP5. 人間に対する敬愛の念をもち、傾聴的、共感的態度をもって、他者との間で良好なコミュニケーションをとることができる。(コミュニケーションと協働力)

(3) 意欲・関心・態度

DP6. 心理学の専門知識、技能、および探究から得られた知見を活用し、人間に関わる多様な問題の解決と、人々の福祉や幸福の向上に貢献しようとする意欲と倫理観を持っている。(社会貢献志向)

DP7. 心理学にとどまらない多様な学問分野の学修を通じて学び続ける意欲を培い、自己研鑽を続ける姿勢を身につけている。(継続的学修力)